

研究テーマ 看護師長の行動がチームワークに与える影響

病 院 名 医療法人常磐会 いわき湯本病院

演 者 ○鈴木真弓(看護師) 崎村由子(看護師) 大淵靖世(看護師)
助川真由美(看護師)

概 要

【研究背景】
看護の質の向上にはチームワークが重要とされている。チームワークを構成するための要因は、「上司の態度」「同僚関係」「チームワークの認識」があると言われている。

【研究目的】
「スタッフナースを惹きつける看護師長のリーダーシップ行動を構成するカテゴリ」を用いて効果的な関わりを持つ事で、看護師長がリーダーシップを発揮する事で、スタッフナースの意識が変化し、チームワークに影響を与えるのかを明らかにする。

【研究方法】
1 研究対象：A病院の看護師・准看護師
2 データ収集方法 1) 「看護師のチームワークコンピテンシーの実態調査」を基にアンケート実施 2) 分析方法：ウィルコクソンの符号付順位検定で統計処理 3) 介入方法：野田¹⁾の研究において明らかにされている「スタッフナースを惹きつける看護師長のリーダーシップ行動」を構成する4カテゴリ22サブカテゴリを基に、師長の行動を行動化し実践する 4) 倫理的配慮：研究の説明書・同意書を作成し、当院の倫理委員会で承認を得た。

【結果】
第1因子【病棟運営・人的環境づくりへの積極的関わり】については、12項目中2項目において有意に上昇した。第2因子【スタッフや仕事状況のモニタリング・支援】 第3因子【意図的な話しやすい雰囲気作り】 第5因子【仕事を通した他者成長支援】 第8因子【さりげない働きかけによる精神的なサポート】につ

いては6項目中1項目において有意差に上昇した。第9因子【他者への波及・拡張を意図した自分の思い、判断、行動の提示】については、4項目中1項目において有意に上昇した。第10因子【病棟やスタッフ理解】第11因子【他者の有効活用】では、3項目中1項目において、有意に上昇した。

【考察】
看護師長の行動が変化した事で、他のスタッフへの情報提供や共有、助け合い、関心や思いやりなどの行動変容が見られ、職場環境の改善がみられたと考える。このことから、看護師長が意識的に行動する事は、スタッフのチームワークに対する認識に影響を与え、人的環境や働きやすい環境づくりに繋がったと考える。

【結論】
1. 看護師長が意識して行動したことは、看護師のチームワークに対する意識の向上に繋がった。2. チームワークには、看護師長のリーダーシップ行動が不可欠であり、スタッフへ与える影響が大きい。3. 「上司の態度」が変化した事で「同僚関係」「チームワークの認識」へも影響を与えた。

【引用参考文献】
1) 野田有美子：スタッフナースを惹きつける看護師のリーダーシップ行動・聖路加看護学会誌 Vo.14 No.1 March 2010